包括的な学校改善の視点：安心して学べる環境

専科教員や加配事務職員を活用した学校モデル

中核校	登別市立幌別小学校	指定校	登別市立幌別東小学校、登別市立幌別中学校

■　構築した学校モデルの具体

○　教科担任制の充実を図るための工夫

・本校の理科専科教員と指定校の中学校の理科担当教員が相互に授業を参観することで授業交流を行う。また、学習指導案の交流や教材に関する情報について、「幌中校区理科教諭クラスルーム」を設定し、情報の交流を行う。

・学年内での教科担任制を実施し、芸体教科以外に、国語や算数でも行い、１組学級担任が国語、２組学級担任が算数を担当するなど、学年全体で児童に向き合う体制を構築する。

【幌中校区理科教諭クラスルーム】

○　加配事務職員の視点からの業務改善と実践

・児童の欠席連絡に Google フォームや Google スプレッドシートを、職員間の情報共有に Google チャットを、行事予定の共有に Google カレンダーをそれぞれ取り入れ、児童の突然の体調不良やけがなどの情報共有について、確実性に加え、速報性や機動性を確保する。

・幌別東小学校との統合に向けて、「統合準備委員会サイト」を開設し、両校の職員間の情報の交流を推進する。

【統合準備委員会サイト】

■　学校モデルの構築に向けた取組の具体

〔管理職の取組〕

・小・中学校の理科担当教諭が連携を図るための体制の構築と連絡・調整を行った。

・統合準備委員会ポータルサイトの周知と率先して活用した。

・教科担任制の充実に向けた、授業参観による現状把握及び授業についての指導助言を行った。

・児童の欠席連絡に係るシステムの構築、教職員や保護者への周知、利用の促進を図った。

・Google チャットや Google カレンダーの率先した活用、教職員に活用の促進を図った。

【Canva 研修】

〔教員の取組〕

・ＤＸ化の推進に係る教職員のスキルアップを目的とした登別市のデジタルフェローによる「FigJam 研修」や教職員を講師とした「Canva」や「Gemini」についての研修を実施した。

・専科教員による指導が行われている時間における学級担任の学級事務や他教科の教材研究を行うなどの勤務時間の有効活用を図った。

・道徳教育推進教師による FigJam を利用した師範授業（５回実施・公開）や道徳科の授業における１人１台端末の効果的な活用についての研修を実施した。

■　各指定校への学校モデルの普及方策

・研究授業の公開と実践発表を実施し、市内の小・中学校や胆振管内の学校に広く成果を発信した。

・令和６年度学校力向上に関する総合実践事業「登別市地域協議会」において、事務職員が実践発表を行い、加配事務職員の視点からの業務改善と学校経営参画について発表を行った。